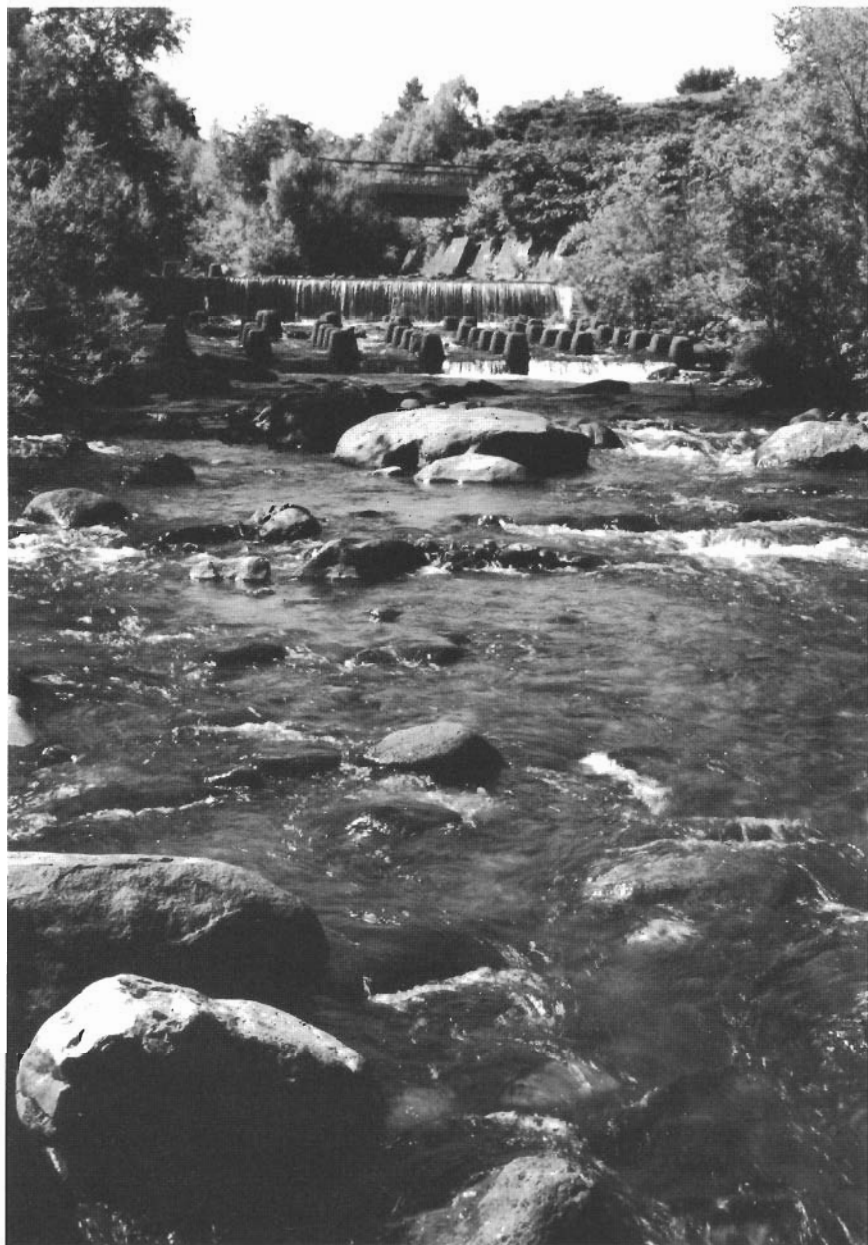


2001 朝里遺産

みんなで見つめ みんなで伝え みんなで活かす

THE ASARI HERITAGE



地域の歴史を大切に 地域の心を重んじる 地域住民の文化財
小樽・朝里のまちづくりの会



朝里の海

地域のにぎわいと人の交流をつくりたい。心のかよい合う、豊かな日常生活の地域にしたい。

目を見張れば見えてくる、私たちの町の素晴らしさ、川や海のきれいな流れ、虫や生物が生きて飛び交う生活環境、花や緑にあふれた山のある自然地帯。そして、先人が築いた歴史と文化の蓄積を大切にしていく。

今まで、見えなかった地域。しかし、町をみつめることにより人々の心が花開いていくのです。ゆっくりとだけれど元気よく、朝里のまちづくりの会の活動は続きます。

(K・N)

朝里遺産について

小樽・朝里のまちづくりの会 会長 五味秀勇

表記について、選定委員会より第一回朝里遺産として、下記四件を指定答申して頂きましたので、今後会員の意見を参考として、各関係機関に働きかけるほか、地域の財産として、皆様に周知、認識を深める様努力して行きたいと思って居り、今後はさらに第二第三の遺産を掘り起こす様努力して行きたいと思います。

一、魚留の滝

自然が残してくれた造形、多くの人々の目を楽しましてくれた魚留の滝、現在は尋ねる人も少なく、それだけに自然が楽しめるが、駐車場の不備、途中の悪路に対し見学者からの不満も聞えて居りますが、選定委員からの指摘の様に途中の民有地、高圧配線塔のため、それぞれの企業から一般の人々の立ち入りを希望しないとの答申があり、今、直ぐに関係者の了解を得る事は難しく、我々の努力で多くの世論を盛り上げ、目的達成に向かって行きたい。

一、朝里川と河畔林

災害防止護岸の河川の中で少しでも自然を取り戻すための努力で魚が見られる様には成ったが、昔の自然が見られる様に成るまでには未だ年月が必要である。河畔林が多く残されて居るのが幸で、今後はワーキングに依り植物、生物の調査に依り自然維持に努める。

一、桜チャシを含む桜町台地遺跡

我々の歴史は浅いが、人類が住みついた年代は想像以上の古い縄文人やアイヌ民族の文化を探る時、いづれも文字を持たない人々であり、専門家の足跡調査以外に無く、今後も発掘調査が行なわれると思いますが、足跡は取返しが利かないので、手を振れ事の無い様指導して行きたい。

一、小林廣郷土史研究資料

朝里の郷土史はほとんど氏の遺稿と聞いて居り、編纂されて居られるご子息と共に研究をして行きたいと思って居ります。

魚留の滝

朝里遺産第 1 号 指定日 平成13年7月10日

朝里川温泉 1 丁目546-4 (周辺)



魚留の滝は、朝里川温泉郷から道道小樽定山溪線を朝里峠に向かって6km、標高330mの地点にあります。小樽最大の滝といわれ、歴史的には松浦武四郎の西蝦夷日誌第四編ツタルナイの項に、「ツカマコアンナイ上に滝あり、その形がまどの形して、両方より差出たる叩き瀑布ある故なづける」と記されています。

幅は15m、高さは22mという滝の眺めは迫力があり、涼味満点で、古くから名所として知られていました。しかし、以前は滝の周辺で、学校の生徒などが飯ごう炊さんする姿も見られたとのことですが、現在はむしろ荒れ果てており、道道から10分ほどの山道が整備されていないこと、道道に駐車場がないことなどから、滝を見学に行くことすらままならない状況になっています。

途中に高圧送電線用の鉄塔があるため電力会社が一般人の立ち入りをあまり歓迎していない、また、付近の山林を管理している企業も一般の立ち入りについては好ましくないとの見方もあり、そのような中で、魚留の滝を「朝里遺産」に指定することは、滝周辺の公園としての整備などにむけて、朝里の自然の貴重な宝として、保全と活用をはかるべく関係諸機関へ整備促進を訴えるためのきっかけとしても重要なものと考えます。

朝里川と河畔林

朝里遺産第2号 指定日 平成13年7月10日



標高 1280.8 m の朝里岳北側斜面に水源を発する朝里川は、ほぼ南から北へ流れる川で、長さはおおよそ 13.8 km、小樽で一番長い川です。さらに、朝里川は河口付近に三角州をもたないため、上流と中流しかなく下流域をもたない特別な川といえます。

中流には、堤高 73.9 m、堤長 390 m の多目的ダム、朝里ダムが平成 5 年秋に完成し、総貯水量 8,800,000 立方メートル、かん水面積 43 ㍖、満水位 197.1 m の人口湖、「オタルナイ湖」がつくられました。

おおよそコンクリートによる護岸整備が一応終わっており、逆に、自然河川化による市民の親水空間の創出が課題となっています。15 年以上に及ぶふるりの会の活動により 13 基の魚道が整備されています。

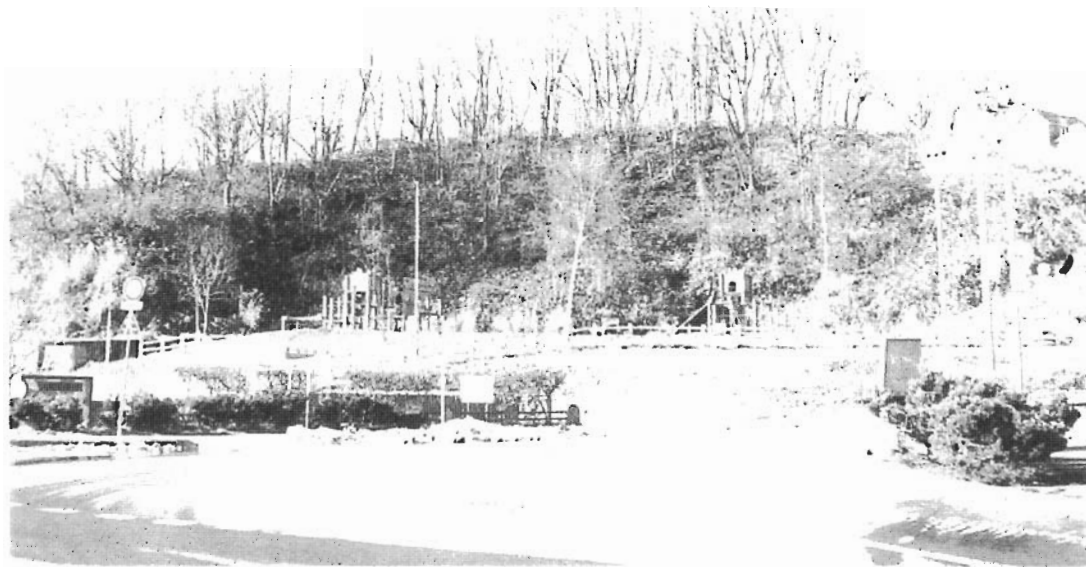
さらに、河川敷および河岸段丘斜面の河畔林は、朝里川独特のもので樹種も多様で野鳥・昆虫などの動物や野草・水生植物などの観察や体験学習に格好の場となっています。

今後、朝里川ワーキングにおける河川整備の検討、子供たちの体験学習や市民参加の親水空間の創出に向けた「子どもの水辺」再発見プロジェクトへの登録をひかえて、「朝里遺産」としての指定をきっかけに、地元として地に足のついた植物調査、野鳥・淡水魚類・水生生物の調査などを行い、自然環境の維持・保全と活用に努力していくべきと考えます。

桜チャシと桜町台地遺跡

朝里遺産第3号 指定日 平成13年7月10日

望洋東公園とその周辺（望洋台 1 丁目）



昭和32年6月30日、札幌高校の峰山巖教諭が同校郷土史研究部員細山省吾君他4人と当時藤女子短大生檜山ミドリさんなどと一緒に調査、引き続き7月4日には、峰山教諭単独で調べた結果、一つは縄文時代の遺跡、もう一つはアイヌのチャシが発見されました。縄文遺跡はやや範囲が広く桜町台地遺跡と呼ばれ、アイヌ民族のチャシは、そのながの丘の上の部分で、和人との交易に関係する会議の場、またはお祭りなどを行う場所と考えられており、アイヌ民族と和人との交流の歴史を探る上でも重要な手がかりを与える遺跡と考えられます小樽市教委では昨年、札幌国際大学の長崎潤一助教授らに依頼して、遺跡の測量を行いました。

その結果がまとまり次第、なんらかの文化財指定も検討されるものと考えられます。「朝里遺産」としては、これを指定することによって、地元として貴重な縄文遺跡と後志地方には数少ない北海道の先住民アイヌ民族の文化を訪ねるきっかけとしていくべきではないでしょうか。

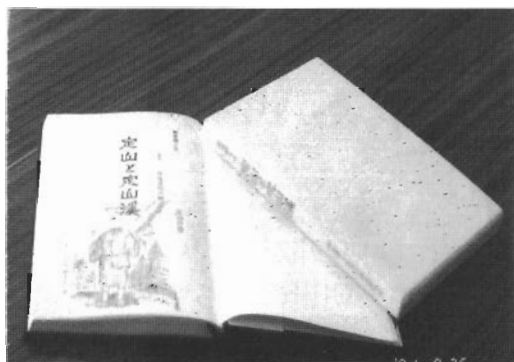
小林廣郷土史研究資料

朝里遺産第4号 指定日 平成13年7月10日

主に小樽市博物館に保管（色内2-1-20）



小林廣（1895～1955）氏の朝里郷土史研究は、ご子息である小林定典氏が遺志を受け継ぎ、1996年「定山と定山溪」を刊行されていますが、多くの研究資料は未刊行で「小林家郷土史関係文書」として小樽博物館に保管されています。氏の郷土史研究の業績を個別に列挙するのではなく、全体を包括して「朝里遺産」に指定させていただくことにより、氏の業績を広く顕彰すると同時にこれらの資料を丁寧にひもといて、すこしずつでも勉強会などを開き地域の住民みずから郷土の歴史の理解を深めていくきっかけとしたいと思います。



朝里遺産指定事業のあらまし

1. 「朝里遺産」指定事業への取り組みの経緯

小樽朝里のまちづくりの会では、地域の自然や歴史、民間伝承など次の世代に受け継ぐべき貴重な「遺産」を、生活の中で見直し、地域で独自に指定などを行い清掃や保存に取り組むべきという意見が提起されてきていました。

平成13年度の活動を検討する中で、「朝里遺産」のネーミングのもと本事業を企画いたしました。

2. 「朝里遺産」指定事業の概要

(1) 事業の趣旨

地域の歴史的、自然的特色をふまえ、民俗伝承や貴重な動植物、その生態、自然景観などを地域の立場から独自に見直し、学習・調査活動を行い、指定・登録などによって、その周知・啓蒙を図り、表示板の設置や清掃など保存活用への意識啓発に取り組もうとするものです。

(2) 事業主体

小樽・朝里のまちづくりの会を事業主体として、指定・登録等は小樽・朝里のまちづくりの会の会長名で行います。

(3) 事業における朝里地域の範囲

広義の朝里、すなわち昭和15年に小樽市に合併した旧朝里村の行政区域、熊碓から銭函までを事業の範囲とします。

(4) 組織および選定の仕組み

小樽・朝里のまちづくりの会に「朝里遺産」事務局を置きます。事務局は情報収集・調査により候補物件リストを作成します。また、小樽・朝里のまちづくりの会会長は朝里地域に在住の専門家・学識経験者を中心に、「朝里遺産」選定委員会を設置します。朝里遺産事務局が作成した資料をもとに、毎年春、秋それぞれ1～2物件を指定するものとします。

(5) その他の取り組み

小樽・朝里のまちづくりの会では、「朝里遺産」指定事業に関連して、指定物件の説明板の設置、(仮称)「朝里遺産ガイドブック」の発行、朝里遺産セミナーの定期的な開催などに取り組んでいきます。

3. 平成13年度第1回朝里遺産指定の経緯

本年3月、選定委員の委嘱と第1回選定委員会を行いました。いろいろのご意見をいただきながら検討を加え、国や自治体の文化財指定にありがちな厳格さ、重々しさ、専門性の重視に対して、「もっとゆるく」「もっとかるく」「もっと広く」を合い言葉に、地域住民自らがその保全活用に取り組むことを第一義としました。4月に行った第2回選定委員会では、指定物件の絞り込みと指定理由の検討などを行い、6月27日、選定委員会委員長小元理男氏から小樽・朝里のまちづくりの会 会長五味秀勇氏へ、平成13年度第1回朝里遺産指定答申書が手渡されました。今回の指定は、この答申をもとに、小樽・朝里のまちづくりの会会長が行うものです。

朝里遺産選定委員会選定委員氏名 (平成13年3月委嘱)

選定委員長	小元 理男	小樽市朝里2丁目12番25号
選定委員	久野 光朗	小樽市新光4丁目24番7号
	小林 定典	小樽市朝里3丁目2番5号
	長谷川君代	小樽市新光5丁目18番6号
	水口 忠	小樽市望洋台2丁目32番14号
	峰山 富美	小樽市松ヶ枝2丁目5番32号
	守谷 明宏	小樽市望洋台1丁目7番12号

(敬称略・氏名は五十音順)



朝里遺産選定委員会(事務局と選定委員のみなさん)

朝里遺産候補（朝里遺産事務局がリストアップしたものの中の主な候補）

イ) 定山和尚の遺産

1. お小夜・清吉地蔵

高島場所請負人西川伝衛門の娘お小夜の、朝里漁場頭取五十嵐清蔵の息子清吉への一途な恋。文久3年、清吉死去。同年、お小夜後追い入水。お小夜の心を知っていた定山坊がお小夜の髪の一部を清吉の墓に埋め一対の石地蔵を建立。

太平山の横に祀られている
(石2対がお小夜・清吉地蔵)



2. 太平山碑

定山和尚が魂入れ、手宮古代文字を発見した、石工長兵衛との合作といわれ、朝里の鍛冶屋、柴田長太郎の発願。郷里に残してきた両親が心配、妻と子どもを帰らせることにした長太郎がその長旅の無事を祈って、慶応3年5月17日、朝里川尻に建立。

朝里の宝物太平山碑
(写真提供 小林定典氏)



3. 太平山まつりの行事

三吉神社の例祭とお小夜・清吉の慰霊祭を合同で執り行う、文久年間(1864年頃)から続いている、現在では珍しい神仏混合の行事。

135年間続く神仏混合のまり太平山まつり
(毎年8月最終日曜日)



ロ) 朝里の自然遺産

4. 豊倉のミズバショウ群生地

豊倉小から望洋台へ抜ける道中にあり、ミズバショウが群生し、カモが来池する。ヘイケボタルが自生している可能性がある貴重な場所だが、近年環境が壊れつつある。

5. オタルナイ湖と周辺自然環境

昭和57年6月、豊倉橋付け替えから始まった朝里ダム工事、11年の歳月を経て平成5年9月に完成。人工湖ではあるが、背後の山々と一緒になった自然環境は雄大である。

豊かな自然に囲まれた朝里ダム(オタルナイ湖)



ハ) 朝里の歴史遺産

6. 梶里神社と松前神楽

梶里神社は文化14年(1817)5月、朝里漁場の親方(綱元)原田治五右衛門の建立。小樽で一番最初に松前神楽が伝えられた小樽伝承発祥の地。

松前神楽
小樽伝承の地
梶里神社
(例大祭のようす)



7. 義経隧道

明治13年、クロフォードが工事を指揮した幌内鉄道の開業当時の素掘りトンネル跡。アメリカの開拓鉄道を模範とした好例。

張碓に残る義経隧道



二) 朝里の無形遺産

8. 松前神楽

17世紀の松前藩で発祥した神楽。

国の記録選択の文化財。梶里神社の祭礼は、福島大神宮の宮司家であり松前神楽の宗家でもあった常盤井家が行っていた。常盤井家第14代宮司秀太が朝里の綱元、原田家から嫁を迎えたことから、松前神楽が朝里に伝わったといわれる。

松前神楽(四ヶ散米舞)
小樽保存会の子どもたち



9. 朝里の漁師唄

かつての朝里のにしん漁で唄われたもの。今も歌い継ぐ長老が朝里にいます。江差迫分にも似た微妙な節まわしは朝里独特なものがあります。

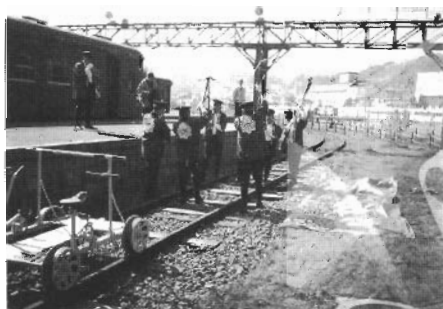
10. 保線つき固め音頭

(トコ・ショット節)

日本で三番目の鉄道の安全を守る保線作業の際に、仕事唄として唄われたトコ・ショット節。

レールを敷くのはともかく、保線作業は、きつくて単調な仕事。日本の鉄道開業に当って、イギリスから招かれたスコットランド生まれのジョンさん。鉄道敷設と保線の現場監督をされており、お国の労働歌を歌い、作業員にも唱和させて作業を進めたとのこと。スコットランドは民謡の宝庫でもあり、これが全国に伝わった「トコ・ショット節」の起源であろうと推測されます。現在、保存会のあるのは小樽と八戸だけ。貴重な

ビータつき固め音頭(トコ・ショット節)を唄いながら作業



小樽・朝里のまちづくりの会の活動 SINCE 1999 ~ 2001

朝里地域と 朝里のまちづくりの会の発足

朝里地域は、小樽の中では比較的早く、江戸時代の末期に拓け、明治初期には小さな村落となっていました。他地域と同様、朝里もニシン漁で活気が生まれ、徐々に山の上地区の方に畑作農家などが広がっていきました。

小樽の東部地区の熊碓、朝里、張碓、銭函は昭和 15 年 8 月 31 日まで農漁業を基幹産業とする独立した自治体「朝里村」でした。村役場は朝里にあり村議会がもたれていました。

小樽市と合併になった朝里ですが、戦後少しずつ都市化が進み、望洋台地区の開発などもあり地域全体が住宅地へと変貌していきました。

昭和 20 年代には、小樽唯一の温泉街、朝里川温泉が誕生。小樽保養の奥座敷として人気を得ました。その後、同温泉は、盛衰の波を乗りこえて、平成に入って再び活気をとり戻しました。

そんな中、朝里（小樽）と定山溪（札幌）を結び、小樽定山溪線（道々 1 号線）の改良工事が進み、平成 12 年 4 月 21 日に、冬期を含めての通年開通が実現することとなりました。

明治 9 年、美泉定山和尚が同線開通を夢見て測量作業をして以来、124 年が経過しての快挙でした。

朝里川温泉組合の有志、地域の活動家などは、これを朝里の町おこしの絶好機と考えました。それに、統一地方選で初選出となった地域の市議会議員や、まちづくりに気持ちを寄せる有志たち、ヤマベ放流を十数年継続していた「ふる里の川づくりの会」のメンバーが中心となり「小樽・朝里のまちづくりの会」は平成 11 年 5 月 19 日に発足しました。

今は発足して 3 年に満たない活動期間ですが、「朝里遺産指定事業」の他にも、地域の自然環境

を生かした様々な活動が目白押しに続けられています。

通年開通になった小樽定山溪線
（ゆらぎ街道）



朝里のまちづくりの会の 活動内容

①花いっぱい運動

歴史的町並みはなくても、美しい町花いっぱいの町・朝里にしたい。通年開通になったゆらぎ街道を花いっぱいにできないだろうか。会ではさっそく、参加者を募って、花いっぱいの先進地「恵庭・恵み野」に視察に行くこととしました。

平成 11 年 7 月に恵み野を実際に見ておどろきました。商店街の公共ゾーン、各家庭の軒先やお庭の素晴らしさ。様々な花が咲き誇っていたのです。

「朝里も恵み野のような花いっぱいの町にしたい。」と参加者一同、心から思いました。

翌年、道々 1 号線沿いの植木桝、約 150 ヶ所に

道々 1 号線のクリーン活動
（13 年 5 月）



4000 株の苗を植えました。

作業には地域の町内会などから延べ 200 人の参加がありました。2 年目の今年は、花の量を 7000 株と増やし植え込みました。美しく咲き乱れた「ゆらぎ街道」は 7 月ころからが見ごろとなります。

また小樽市の認定する「小樽まちづくり景観協議会」の 5 番目の認定団体となりました。これにより、平成 13 年度より 5 年間、毎年 20 万円上限(2 分の 1 以内)の助成を受けることになりました。

会員らは、植えた後の雑草とりなど、生物を育てることの大変さも味わっていますが、それ以上に「花のある朝里の町」に心を躍らせています。

花植えの日 役割割りも決めます。
(朝里郵便局駐車場)



②ヤマベ放流祭と川のそうじ

「ふる里の川づくりの会」のヤマベ放流祭は平成 13 年で 16 回目となりました。この間、朝里川の魚道の整備もあり、魚の棲む川、朝里川がもどってきました。

小樽の河川の中では親水空間と河畔林の多い自然環境に恵まれた朝里川です。

息の永いヤマベ放流事業は、川の自然回帰をもたらしましたし、地域の核となる大きな市民運動となっています。

また、川のそうじも毎年継続して実施され、近年は、川づくりの会と朝里のまちづくりの会との合同で活動しています。

第 16 回やまべ放流祭
(13 年 6 月 9 日)



モデル地区の花植え
(たるしん朝里店前)

朝里小学校も参加
(左二人、校長・教頭先生)



かなりの重労働です



朝里川のそうじ
粗大ゴミの処理(12 年 9 月)



③大仮装盆踊り大会と朝里の花火大会

新光南町会の盆踊りは、平成に入って一時中座していましたが、平成8年に復活となりました。その後、朝里川温泉組合と朝里のまちづくりの会が参加し、平成11年から「大仮装大会」を始めましたので、それまで小さかった盆踊りの輪は、仮装大会の出場者や関係者、また見物人が多数集い、一気に大きくなりました。

仮装大会は子供の部と大人の部で二日間にわたって繰り広げられます。賞品の総額は約50万円。出場者はのべ50人(組)ほどとなり盛況となります。

奇想天外の仮装の輪は、朝里の夏の夜の一大風物詩となる勢いです。

平成12年からは「朝里の花火大会」を始めましたが、仮装盆踊り大会会場のほぼ真上に打ち揚げられるため、ほかでは見られない臨場感いっぱいの花火大会となります。

10分間ほどの花火大会ですが、頭上に大きく花開く花火は圧巻。首が痛くなる程の身近な花火に「感動した」という声も多数寄せられます。

また、会の呼びかけで地域住民のたくさんの方から浄財が多数寄せられます。

子どもの部の行列



第2回大会(平成13年)
大人の部 優勝者 水野英治さん
アイデアの勝利(小谷実可子)



第2回 朝里の花火大会

(平成13年8月18日)



④ほたるの里づくり

朝里地区では約15年前に、朝里川温泉組合の有志がほたるの飼育に取り組んだという経緯がありました。現在、道内各地でほたるの里づくりが進められていますが、そのさきがけとなった活動でした。

当時、ほたるの飼育に成功したまれな例だったのですが残念ながら諸般の事情により、「ほたるの里」に至るまでにはなりません。今年、朝里のまちづくりの会では再度、15年ぶりに、ホタルの里づくりに取り組むことにしました。それには、ホタルの幼虫の飼育をしなければなりません。成虫に育て、産卵させ、そしてまた、幼虫を育てるという循環の飼育活動です。今年の5月に札幌市西区ホタルの会の協力を得て、ホタルの飼育活動をスタートしました。また8月には蘭越ホタルの会の視察にいきました。

それと共に、ほたるの自生ゾーンを創ろうと、温泉地区の「鹿の通り」の隣接地区の朝里クラッセホテルの所有地に「ほたるの池」を造ることとしました。水は、鹿の通りの涙川から水中ポンプで汲み上げ池に流し込みます。池は3つからなり、1つ目がフナとコイの池、2つ目がカワニナ（タニシ）の池、3つ目がほたるの池。池は会員の手作業もあって7月に完成しました。同時に豊倉小学校と末木寛さん宅で幼虫の飼育をしましたが、肝心のほたるがふ化しませんでした。18匹の幼虫のうち成虫になったのは1匹のみ。ほたるの飼育の難しさを痛感させられました。

ところが、朝里クラッセホテルの露天風呂付近で会員の岡本宏一さんが「ほたる」の捕獲に成功しました。どうやら、15年前のほたるの末裔が自生しているらしいのです。近くの人のお話だと、ほたるの死骸を見かけた事があるという事実もわかりました。

今年はほたるをうまく育てることはできませんでしたが、朝里をほたるの里とする活動に一条の光明が差し込められたのでした。次年度も、ほたるの自生におけ根気強く活動を継続していこうと心に誓っています。



札幌市左股沢川へ視察
(13年4月)



札幌の田中先生によるほたるの説明
豊倉小学校(6月)



会員の手作業ほたるの池づくり
(13年7月14日)



⑤ゆらぎの里・秋の収穫祭

平成11年9月に「ゆらぎの里・秋の収穫祭」の第1回が開催されました。通年開通となった道々1号線沿いの朝里川温泉地区を盛り上げようというイベントです。

温泉組合の若手が中心となり、バンド演奏やマラソン大会、後志からの無農薬野菜農家(しりべし百姓クラブ)を招いた、本格的な朝里のイベントとなり、大道芸人フェスタ、地ビールフェスタとの特色を打ち出しましたので、新しい朝里を大きくアピールすることができました。

さらに、道々1号線の通称を公募し、約3百通の応募の中から「ゆらぎ街道」と命名、地域のイメージ・アップを計るわらいでした。

また、水族館や各方面からの協力もあり、ペン

ギンやロバが集い、朝里のミニ動物園も誕生してにぎわいました。

2回目の平成12年からは、会場を朝里クラッセホテルの周辺としましたので、「鹿の通り」の周遊コースや森の探検などの楽しい企画もふえました。平成13年度の3回目には、そのコースの中に手づくりで造成した「ぼたるの池」も含まれるため、より一層の盛り上がりを見せることでしょう。



ステージでのひとコマ
(12年9月9日)



会場風景



第二回 ゆらぎマラソン

⑥望洋ジャンプ・カーニバル

ジャンプ競技はかつて小樽の独壇場でした。第4回冬期五輪大会はドイツのガルミッシュ・パルテンキルヘンで開かれましたが、この大会のジャンプ競技の日本代表は、トレーナーも含め、すべて小樽出身者でした。

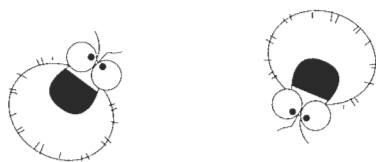
朝里地区の望洋台にノーマルヒルのジャンプ台

ができ、長野オリンピックでも日本選手の活躍がありました。残念ながらここに望洋台のジャンプ台が使われるチャンスがほとんどありません。無用の長物との陰口さえ聞かれるほどでした。

そんな中、心ある人や地域住民でジャンプ台周辺を使い、秋の一日を楽しもうと「望洋ジャンプカーニバル」の企画が出来上がりました。平成12年10月、綱引き大会とヨサコイソーラン踊りをメインとした住民参加の催しとなりました。競技とは別に、親子でジャンプ台を上って楽しむ方も多数あり、主催者のねらい通りのイベントとなりました。

また、広いランディングバーンとプレーキングトラックを会場に使った朝里のまちづくりの会の手弁当のイベントですので費用もほとんどかけずに、楽しい秋の一日の行事となりました。

カーニバルには、道内のヨサコイソーランチームが6チームほど参加して、その華麗な舞姿を披露してくれましたが、その中でもひととき目立ったのは、地元豊倉小学校（1年～3年生）の一条乱れぬ華麗な舞姿でした。たくさんの拍手が豊倉小学校の子供達に送られました。



見事な舞を披露
豊倉小学校（1・2・3年生）

つな引き大会、力が入ります。



⑦朝里スキー場でのスキー大会・サービス

海あり山ありの朝里地区には、スキー場があり、冬はたくさんのスキー客でにぎわいます。しかし、これまで朝里にはFISなどの公認スキー大会は開催されていませんでした。平成13年1月に初めてFISの大会が開催されることになりました。

会のメンバーにスキー大会の関係者がいたこともあり、せっかくの大会開催をサポートするため、甘酒、ココアなどのホットドリンクを選手、役員などにサービスすることとしました。

会のメンバーは10数名ほどで甘酒の仕込み、味付け配布を行い、250～500人分の飲み物をサービスしました。温かな飲み物は、大会関係者やスキー客に大変喜ばれました。朝里のイメージアップにほんの少し貢献することができたのでしょうか。

甘酒・ココアのサービス
(13年3月16日)



⑧「松前神楽子供保存会」の結成

松前神楽は明治20年代に小樽に伝承されましたが、最初は朝里の榎里神社から伝承されたと伝えられています。その伝統を復活しようと「松前神楽子供保存会」を平成13年2月より結成して練習を始めました。

指導者は、松前神楽小樽保存会の会長で唯一人となった北海道指定無形文化財保持者の木村

本間清治先生と松前神楽のビデオを観賞する子どもたち



修氏と松前神楽後志保存会会長の本間清治氏。週1～2回の練習で朝里神社の例大祭に出演します。今後、年に3～4回ほど公開出演する予定になっています。

朝里の伝統芸能が子供の手によって復活していくのです。

活動資金づくりに アルミ缶回収など、あの手この手

地域活動を進めるには活動資金が必要になります。朝里のまちづくりの会は活動費の捻出のため、まず会員が例会に集まった時に、一人500円のポケットマネーを出し合っています。もちろんそれでは、ほとんど何の活動もできません。そこで古紙回収とアルミ缶回収をして収益金を活動費とします。これは、道新中販売所と興和産業さんの協力で行っているものです。広く地域のみなさんの賛意が加わっての資源回収事業ですが、年間10万円ちょよとの資金となります。

しかし、それでも大幅に資金が足りませんので、市や道の助成金や民間財団の資金援助に応募して資金の確保を目指しています。

平成13年度は、下記の支援をうけました。

- 北海道新聞野生生物基金（民間＝北海道）
- 北海道環境財団（民間＝北海道）
- まちづくり市民財団（民間＝東京）
- 小樽まちづくり景観協議会（小樽市）
- 北の生活・スポーツ文化基金（北海道庁）

また、花火大会の際には、地域住民と商店企業の協賛をお願いして年間の活動資金の不足分を補っています。

年間事業費を様々な工夫をして捻出しています。

（文＝朝里のまちづくりの会事務局長 中一夫）

朝里クラッセホテルで開かれた例会
(13年4月3日)



2001年度 朝里のまちづくりの会役員名簿

(顧問) 奥寺正吉・藤井一夫・末木堯
 (会長) 五味秀勇
 (副会長) 前川勝美・菊地芳郎
 (幹事) 新谷とし・横田久俊・松本聖・
 斉藤陽一良・米花正裕・米山
 幸宏・真田俊之

(事務局長) 中 一夫
 (事務局) 元山洋子【会計担当】
 笹谷 毅

(監査) 金子兼夫・高田裕章
 (朝里遺産部会)

◎ 斉藤陽一良
 中一夫・末永通・新谷とし・五味秀
 勇・菊地芳郎・大友慶一

(全国町並みゼミ部会)

◎ 中一夫
 前川勝美・横田久俊・元山葉子・川
 口一敏・日下部信正・野尻スミエ・
 新谷とし

(ほたる部会)

◎ 前川勝美
 末木堯・斉藤陽一良・岡本宏一・中
 一夫・金子兼夫・末永通・城村映一
 郎・木村現市・近藤良一・但木功・
 佐々木美恵子・牧野千意・伊藤経子・
 元山葉子

(花部会)

◎ 金子兼夫
 新谷とし・一條エツ子・大原宰・岡
 本宏一・横田久俊・元山葉子・伊藤
 経子・牧野千意・佐々木美恵子・前
 川勝美

◎は部会長

(部会員以外の主な会員)

阿部豊彦・小野塚秀樹・かんぽの宿朝里荘
 小久保茂雄・佐々木宗雄・今野則一・玉
 川映一・武田洋一・日観興業・守谷明宏・
 吉田拓一・安藤忠五郎・泉本英男

(敬称略)

朝里にも、文化財がほしいと始
 めた「朝里遺産」指定事業ですが、
 やっとパンフレットの発行までこ
 ぎつけました。その間、会員のみな
 さん、朝里遺産部会のみなさん
 そして朝里遺産選定委員のみなさん
 本当にありがとうございました。
 いよいよ、これから、本格的な朝
 里のまちづくりが始まるのだと期待
 して活動してまいります。今後
 共、こりずにご協力を切にお願い
 します。また浄財を寄せてくれた
 方、私共の気持ちを汲んでくれた
 方感謝申し上げます。力を合わせ
 て毎日の生活を送っていきたくと
 願っています。ありがとうございました。

(中一夫)

THE ASARI HERITAGE 朝里遺産

発行日 平成 13 年 9 月 10 日

発行所 小樽・朝里のまちづくりの会

発行人 五味秀勇

事務所 北海道新聞中販売所内

小樽市新光 4 - 1 - 16

TEL 0134 - 51 - 2121

FAX 0134 - 52 - 0088

編集人 中一夫・斉藤陽一良

印刷 大明印刷(株)

朝里のまちづくりの会活動への御寄付・御協賛

商社の他個人69名の方々からも嬉しい励ましのお言葉と共にたくさんのご寄付をいただきました。朝里のまちづくりの会一同心よりお礼申し上げます。

朝里クラッセホテル

北海道新聞中販売所

五味秀勇会長

奥寺正吉

奥寺みつゑ

北海信用金庫

小樽信用金庫

小樽商工信用組合

キヨロゴルフクラブ
ウェルネス望洋台医院
岡本電気工事店
(有)ポッポ亭
光合金製作所(株)朝里工場
(株)大忠安藤建設
安藤忠五郎
新装(有)
朝里整形外科病院
木村建築(株)

すみえ耳鼻咽喉科産婦人科医院
朝里病院
沢内科
日観興業 朝里郵便局
藤屋米店
秦 秀円 佐藤 信弥
マリンヒルホテル小樽
宏楽園温泉(株)
ループ
新日本海物産

石沢新光園
興和産業(株)
ビックテン小樽
(有)アートキムラ
朝里パークホテル
ガルミッシュ
木下病院 小林建設
菊地芳郎 中島幸司
丘の上ビール
干場商店

司美容室
橋亭
(有)大山コンクリート
かんぼの宿朝里荘
バインハウス
氏江たみ店
渡部智
金子兼夫
打越繊維(株)
木村製菓
大幸総業
扇子 富夫
梶米穀
朝里ボール
東小樽病院
シャドークラッセ
(有)本間設備
富樫呉服店
貸別荘ウインケル
新光南友愛の会

大明印刷
鮭処あさり
マルカイチ
里李庵
サイクルショップ朝里
新和会
フタキューセイモア(株)
サングリーン(株)
コカ・コーラ(株)小樽営業所
朝里歯科
笠間歯科
ファッション・ヨネヤマ
佐藤歯科
鮭一
いさみや
鈴木電気工事店
カモミール
小樽ヤクルト販売
小樽・朝里自動車学校
城村映一郎

浄土宗 観昌寺
前田クリーニング
(有)ヤシロ理容
大川(株)
(有)森山商会
ふるさとの川づくりの会
福来軒
デュプロ
(株)万博
バブ・ブラッキー
石井工作所
中建築店
大一工務店
山田工業所
佐々木ケンヤ
山高高橋建設
米沢印刷
小樽木材工芸団地協同組合5社
新谷書道塾
新婦人新光班

(株)釧路製作所
(有)川上板金工作所
YC 朝里
ペンションろーまん
NS ニッセイ(株)
小樽日本ロシア親善協会
新光朝里二金会有志
玄蛇建材(豚・鯨・鯢)
武田洋一
すし屋の塾
プロショップサカタ
廣瀬電気商会
朝里市場
和田生花店
牧田工務店
居酒屋わがまま
市橋電気商会
仲矢建設

(平成13年度のご協賛です)